

実習報告会(3年生心理実習Ⅰ)

7月25日に、公認心理師になるために必要な科目を修めた学生だけ参加できる心理実習Ⅰが無事終了し、恒例の実習報告会が行われました。

福祉領域にある4つの施設の中から、それぞれが希望した施設に5日間の実習でご指導を頂きました。それぞれが立てた目標に向かって、一生懸命実習に取り組んだ様子が伝わる実習報告会でした。

秋学期は、医療領域の実習として、市内の精神科・心療内科で実習をさせて頂く予定です。



臨床心理専攻「基礎演習Ⅰ」～災害時の「食」を考える～

6月に、2年生は被災時の心理について考える一環として、災害や紛争における人道危機支援に関わる全ての支援活動従事者に向けたガイドブックである「スフィアハンドブック」にもとづき、避難所および避難先の居住地と食料安全保障および栄養について考えるワークショップとして、災害時の「食」について考えました。



災害時における備蓄食として、日北自動車工業株式会社様から寄贈された「救缶鳥」(パンの缶詰)の提供を受けて、基礎演習のテーマである地域との連携を意識するために社会人教養楽部の方々と一緒に「ご近所炊き出し訓練」を想定して実施しました。

「救缶鳥」(パンの缶詰)やローリングストック※している食材を使っての『栄養バランスを考えて備蓄食材をいただく』実習

※普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法



まずは「救缶鳥」(パンの缶詰)をそのままいただく。「え! 缶パンって硬くないの?」
「時代は進化している!!」

大学で VRChat を活用!? 札幌国際大学が心理学とメタバースをテーマに、オープンキャンパスで“VR 空間”から講義を実施

転載：バーチャルライフマガジン 2024.6.11 号



2024 年 5 月 25～26 日の 2 日間、[札幌国際大学](#)ではオープンキャンパスが実施されました。

人文学部 心理学科では“リアル教室+VRChat 内教室”の同時講義を開催。来校した高校生や保護者は実際の教室に映る VRChat の映像を見る形となり、VR 空間の中から講師がリアルタイムに語りかける構成の双方向性を持った講義が展開されました。「アニメと心理学」と題され、“認知心理学+メタバース”をテーマにした講義は、仮想と現実の境界線を探るべく、答えの見えない哲学的問題を次々と取り上げながら進行。現実の教室に向かって VRChat から“生きた人たちが”語りかけてくるという状況そのものを素材にして、認知心理学の面白さを紹介しました。

大学生が自ら作り上げるオープンキャンパスの現場



オープンキャンパスを取り仕切るのは札幌国際大学の現役学生
臨床心理専攻のマオウさん(外側左)とヒイラギさん(外側右)
彼らは VRChat 内で特撮映像制作チーム『Banzai Studio』にも所属している

*続きはリンク先で ⇒

